

《令和8年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
仏教史料研究会	田中(石井) 正稔
研究会名 略称:	所 属:大正大学非常勤講師
活 動 紹 介	
【活動内容】 本研究会は、歴史学の立場から仏教関係史料を取り扱い、研究をすすめることを目的としている。主に寺院関係の古文書・古記録などの史料の解読作業が中心となっており、真言宗豊山派寺院所蔵(千葉県所在)の聖教・古文書類の整理作業を行っている。現在は、参加者全員で目録の作成及び『交衆帳』の翻刻作業を進めている。歴史学を主体としていることから、くずし字の読解力が必須となるため、そうした知識を得た者が望ましい。	
【活動実績】 ※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 「近世新義真言宗の院室兼帯について」(『総合仏教研究所年報』第47号掲載)	
【令和8年度活動計画】 聖教・古文書類の整理作業をおこなっていくが、特に近隣寺院との訴訟に関わる史料に着目していく。ここ数年は活動が滞っているので、積極的に研究会を開催し、メンバー全員での史料の読み合わせを中心とする。	